

僕たちが主役のこの世の中なのだよ!!

またまた、日がながくなると、毎日が美しいです。
早朝の火田もキラキラして綺麗だけじ、暑い日の
夕方の火田も、それはそれは美しいです。

何だか、自分が花に感動したり、植物のこゝろを
考えたりするほど、数年前には夢にも思わなかつた
けれど、今はその美しさに完全にハマっています。

僕の火田は、完全自然農。自然のサイクルだけが
導き、草も生え放題、花も咲き放題、使えら
ぬものは刈り込んで火田に返す。近所のおば
ちゃんが通りすがりに、「まあ、草も放題」と
一言捨てて行った。やはり価値感が違う
と、印象も違う。草も植まなくて、肥料もやらず

農薬をたらずに使うのが農だと思ってる。

僕は余計な事は一切しない。自然のサイクルの中、
宇宙の誰にも操作できないサイクルの中、生命活
動に無力ながら参加している感じで、家も
離れているせいもあり、そんな面倒を見るというよ
りは、定馬金いながら、出来たものをただありがたく
いただくという。でも、それだけで感動なのだ。

また、ラッキーな事に、白姓仲間との絆もがらみ深
まってきた。コミュニティーになってきた。何だか
バンドと似てるなと思う。

バンドも、縁がある人が集まると、年もバラバラ、
好みも性格もバラバラな人達が集まると、一つの
曲を構築させて、練習を重ねて、人前に立たせたら
い、運が良ければ嬉んで頂ける。

田んぼや畑も芽出し、育苗して、定植し、土に着
けばやがて花が咲き実が成る。それをいただく
嬉ぶ人がいて成り立つ。バンドも白姓仲間も、
ファミリーなのだ。

日本中、いろいろな場所でいろいろな形のファミリーが
構成されていて、みんな協力合って生きている。
一人ぼっちも辛いけど、やっぱり一人は寂しい。

よく一品持ち寄りだ。みんなで料理を作っていっしょ
する時なんかは、自作のおかずと、人が作って持っ
て来たものクラブで、まさにラララが始まる。

いろいろな形の平和クラブが各地同時に開いて
ほら、笑っている。

身の回りだけを見ていると、本当、この世は平和です。
この水はあーまいて。

しかし、政府や企業のお金かえである報道機関は、戦争に向けて、わざと、未だに人をだまし、人殺しを旨と、精神性まで占領していく戦争というものづくり返し、利益のためだけに、争いを起こさしている、しかも、自作自演だ。

大体おかし、そのほかにお金が好きなの？
そのほかにお金が好きなの？ この世に金だけ残っても、お金は食ばらぬものだよ。

僕は身の回りの単位で言えば、充分に幸せに仲間とやっていこうと、いさかかやめあみがまいると、なるべく話し合えて解決して、前に進む。ケンカをしても、武器も使わないし、殺さない。

ムリやりお金の為だけに戦争を起さすといっている、ボートに上った、巻き込まれるし、簡単に洗脳される、楽にこゝろを奪うことを続け、悪いことを望みたいです。

ある人が言っていました、人間は、あきらめと希望が一番力強い悪い、と。

小生の頃、なにをどうかと思、何で支やわと、教えられたこと、根性も体力だけでは狂子。自分も正直どうしていいか、何を言わせ、相談しあおう、おそっ？戦争、何だった、け？
この世界が善いと信じて、なにをどうか、精神だ。